

「福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真」 を改定しました

福島県浜通り地域等の自立的・持続的な産業発展の実現に向けた、産業発展のビジョンとして「福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真」（以下「青写真」という。）の改定版を復興庁・経済産業省・福島県の３者で取りまとめました。

1. 背景・目的

福島イノベーション・コースト構想（以下「イノベ構想」という。）のこれまでの取組により、企業進出やそれに伴う雇用創出など一定の成果が出ています。

しかし、浜通り地域等において、いまだ、イノベ構想を身近に感じられないとの声も引き続き存在しており、裾野の広いサプライチェーンを含む産業集積の構築などを通じたイノベ構想の実現に至るにはなお途上にあります。

これらを踏まえ、今般「青写真」を改定し、浜通り地域等がそれぞれの地域の強みを活かしながらあらゆるチャレンジを可能にする実証の聖地となることにより、産業集積の構築の具体化を進めるとともに暮らしを支えるイノベーションの創出を促進していきます。これにより、浜通り地域等におけるイノベ構想の定着も図ってまいります。

国・福島県および関係機関が地元自治体としっかりと連携して一体となって、浜通り地域等の創造的復興を成し遂げるという固い決意と覚悟の下、総力を挙げて、イノベ構想の実現に向けた取組を戦略的かつ徹底的に進めることで、福島の復興をさらに加速させてまいります。

2. 改定のポイント

- ① 重点 6 分野における企業の戦略と地域の強みがマッチングする形で、産業集積を形成した上で、地元企業を含めた面的なサプライチェーンの構築も進めることによって、産業集積の効果を広域に波及させ、「地域の稼ぎ」を創出。（地域の稼ぎ）
- ② 地域企業は、地域コミュニティの一員として、地域に密着した社会課題の解決に資するイノベーションを創出し、地域住民の暮らしやすさの実感を向上。（日々の暮らし）
- ③ これらの活動を支える新たな活力の呼び込みを進めるとともに、次世代を担う人材育成を強化。（担い手の拡大）

- ④ 進出企業、地元企業、研究機関、国・県・地元自治体等を中心とした共創的コミュニティの構築を促進し、それがプラットフォームとなって、①～③が相乗効果を発揮することにより、創造的復興を目指す。

3. 参考資料

- ・ 福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真（改定） ※本文
- ・ 福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真の改定について（2025 年 5 月 30 日福島イノベーション・コースト構想推進分科会（第 6 回）資料）

4. 関連URL

原子力災害からの福島復興再生協議会

<https://www.reconstruction.go.jp/topics/000818.html>

福島イノベーション・コースト構想推進分科会

<https://www.reconstruction.go.jp/topics/20171127102413.html>

【問い合わせ先】

復興庁 経済産業班

重力、鈴木、大越、宮本、浅木

電話：03-6328-0242